



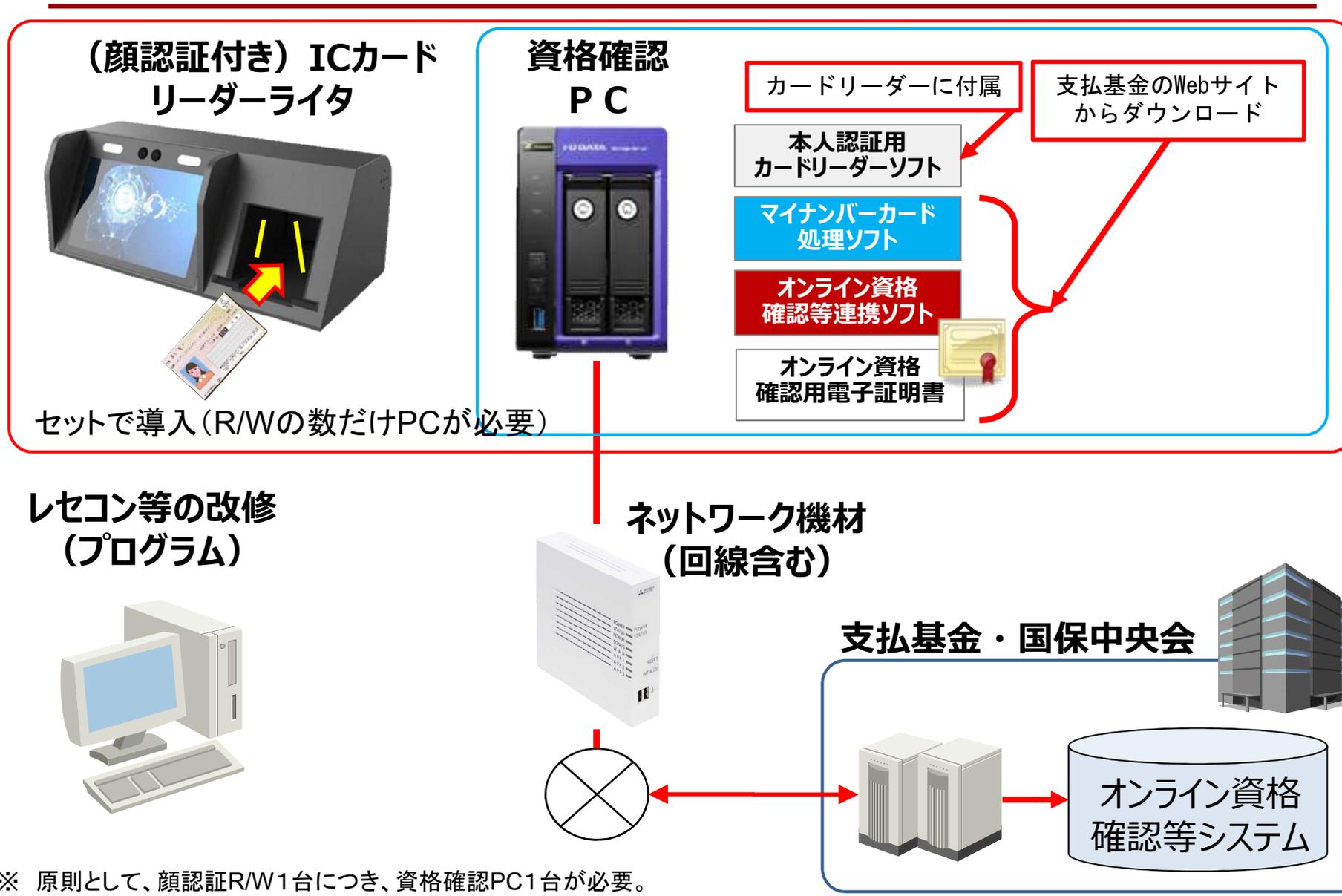
日レセのオンライン資格確認対応 について



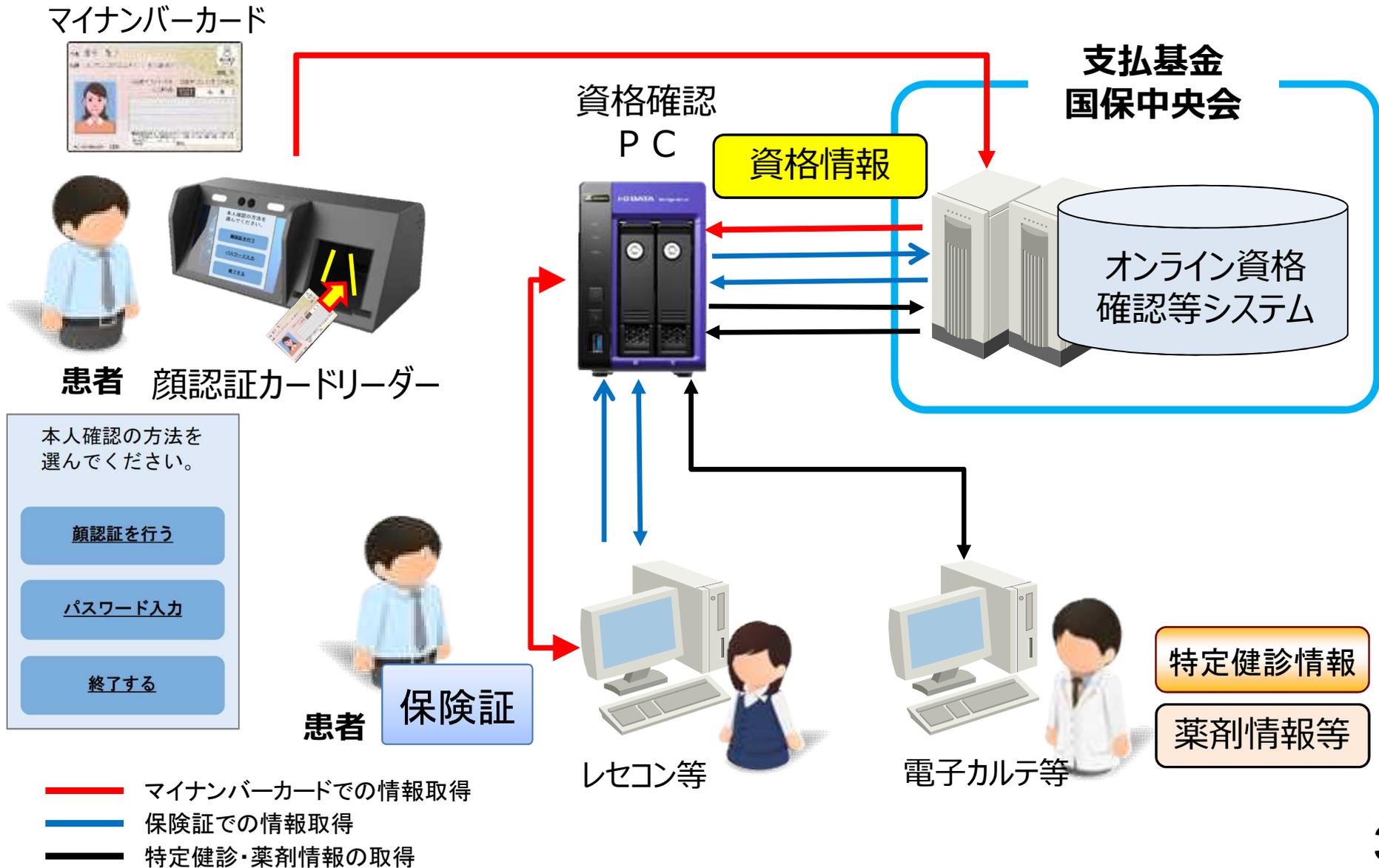
日本医師会ORCA管理機構株式会社

西川好信

必要なもの



資格確認のながれ



開発項目

■ 連携方法

■ 連携アプリケーション(ファイル渡し)で実装

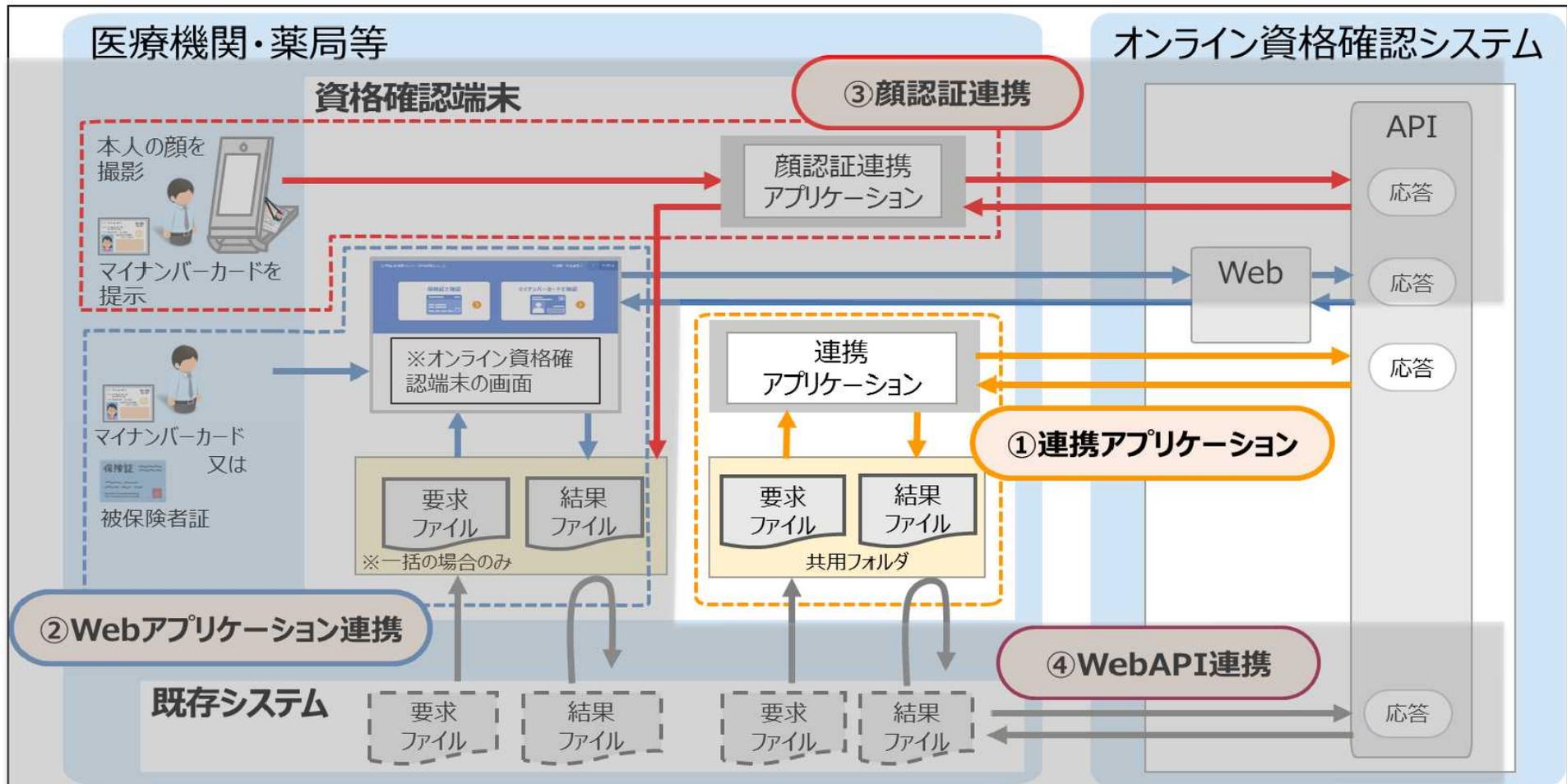
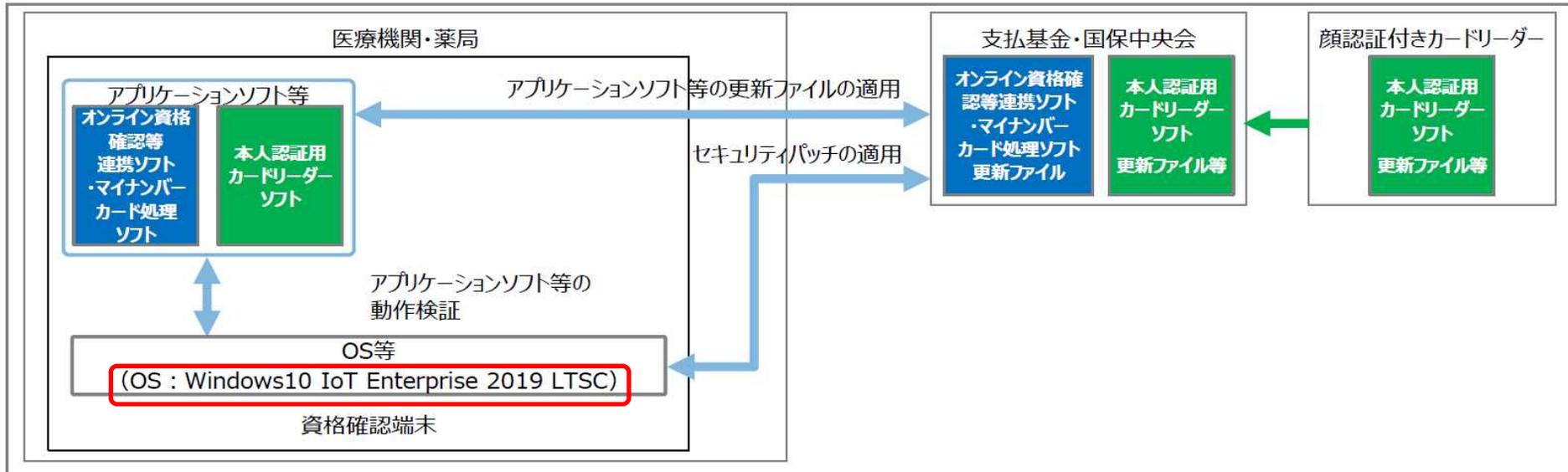


図 1-1 既存システムとオンライン資格確認システム間の処理概念図

基本的な構成

- 技術解説書にて示す基本的な構成例における、資格確認端末に搭載されたアプリケーション等に係る運用・保守の実施主体は、オンライン資格確認等システム運用実施者にて動作保証を行うことを前提に以下の通りとします。



セキュリティパッチの適用	支払基金 ↔	<ul style="list-style-type: none"> オンライン請求ネットワーク経由で配信し、医療機関・薬局が適用する。
支払基金・顔認証付きカードリーダーのアプリケーションソフト等の更新ファイル等の適用	支払基金 ↔	<ul style="list-style-type: none"> オンライン請求ネットワーク経由で配信し、医療機関・薬局が適用する。
マイナンバーカード処理ソフト・オンライン資格確認等連携ソフトの更新	支払基金 ■	<ul style="list-style-type: none"> セキュリティパッチ適用等に伴う更新ファイルを作成する。 資格確認端末において満たすべき要件及び基本的な構成における資格確認端末上での動作検証を行う。
本人認証用カードリーダーソフトの更新	顔認証付きカードリーダーベンダ ■	<ul style="list-style-type: none"> セキュリティパッチ適用等に伴う更新ファイルを作成する。 資格確認端末において満たすべき要件及び基本的な構成における資格確認端末上での動作検証を行う。

マイナ受付の概要

- マイナンバーカードで受付け(新患・再来)
- マイナンバーカードでの受付けは、レセコンを通さない！
 - 顔認証リーダーにマイナンバーカードをかざす
 - メニューに沿って情報開示の同意を行う。
 - 最新の保険情報を取得(高齢受給者証・限度額認定証・特定疾病療養証)が指定共有フォルダに返却される
 - 返却されたファイルに健診結果・薬剤情報の同意フラグが記録されている。
 - 各々、同意フラグと同意日時・閲覧有効期限
 - 特定健診・薬剤情報の取得(同意)フラグを立てる。
 - 同意通知を経て資格確認端末の指定共有フォルダに、日レセから特定健診・薬剤情報の取得電文を投げる。
 - 同意があれば情報取得出来る。無ければ取得出来ない。
 - 特定健診・薬剤情報の取得はこのパターンのみ。
 - システム管理にパスワード設定フィールド追加
 - 職員登録に薬剤情報と健診情報それぞれの閲覧権限フラグ追加

開発項目（日レセ）

■ 照会番号登録機能

- 医療機関コードと患者ID
- 問合せ電文とセット

■ 問合せ機能

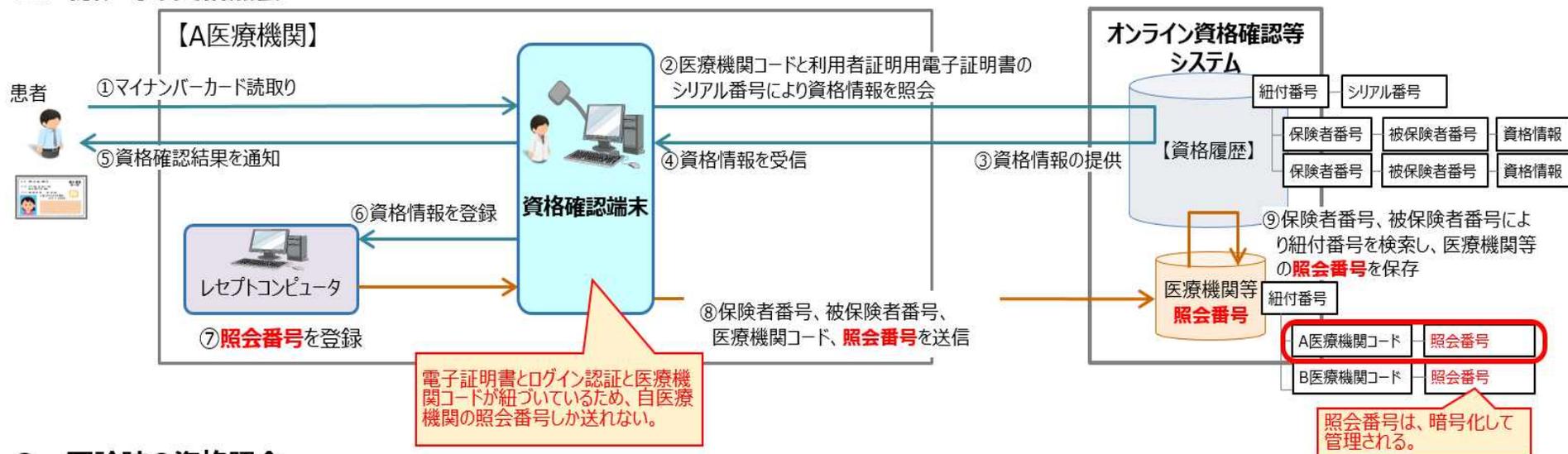
- 頭書き登録画面 . . . 被保番から問合せ
- 診療予約 前日に一括問合せ（検討中）
- 受付一覧から 個別問合せ

2. 照会番号の仕組みについて

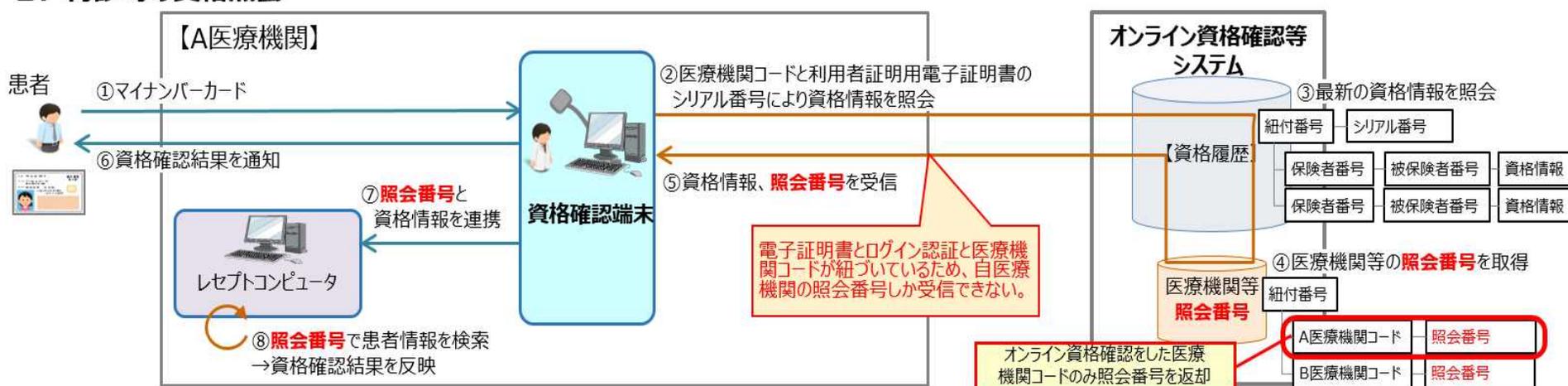
○レセコン等で管理している資格情報の更新の仕組み（イメージ）

- 保険者を異動する際に被保険者番号が変わるため、レセコン等の資格情報を系統的に更新するためには、紐づけのキーが必要になる。このため、医療機関コードと照会番号をオンライン資格確認等システムに登録し、資格確認結果と一緒に当該医療機関等が登録した照会番号を返すことで、レセコン等で管理している資格情報を更新する仕組みとしている。なお、当該紐づけを運用にて都度実施する医療機関・薬局においては当該仕組みを利用する必要はない。

1. 初診時の資格照会



2. 再診時の資格照会



開発項目（共通）

■ 返却された情報の表示・確認・取り込み

- 新患登録

- 文字化け対策

- 同姓・同名チェック

- 複数返却の場合のリスト表示

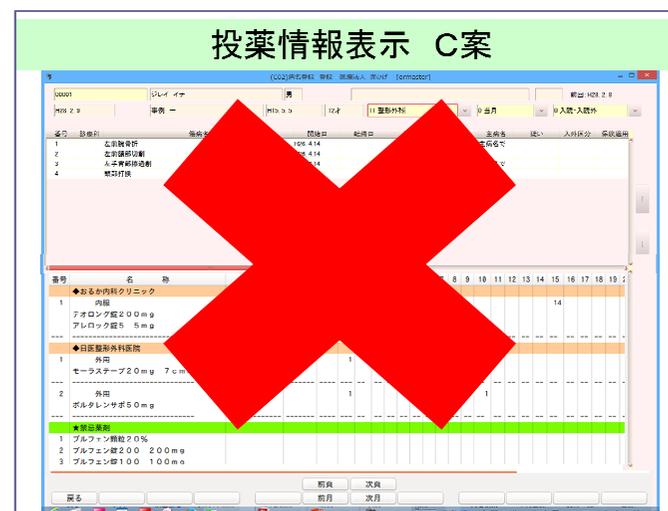
- 追加情報（限度額・特定疾病）の取り扱い（追加・更新）

- 資格確認端末にデータを残さない。移動・取り込み後に端末側データを削除

- ~~■ 医薬品情報の取り込み・表示~~

- 資格確認日付を記録

 - 6ヶ月～12ヶ月（コロナ長期投与を鑑みて）



返却データ例

資格確認結果一覧（案）

以下のようにレセコンの患者情報と資格確認結果で突合した結果一覧が、レセコン画面に表示されることで職員は確認が必要が患者のみ、患者情報を確認することができる。

#	照会番号	保険者番号	記号・番号・枝番	氏名	氏名（カナ）	確認結果		
1	100000	06123456	10・001・01	山田 太郎	ヤマダ タロウ	正常	確認完了	患者情報を開く
2	200000	06123456	10・002・01	山田 次郎	ヤマダ ジロウ	保険情報不一致	確認完了	患者情報を開く
3	300000	06123456	10・003・01	山田 三郎	ヤマダ サブロウ	限度額情報不一致	確認完了	患者情報を開く
4	400000	06123456	10・004・01	山● 四郎	ヤマサキ シロウ	氏名不一致	確認完了	患者情報を開く
5	500000	06123456	10・005・01	●● ●●		住所不一致	確認完了	患者情報を開く

※上記一覧は例示のため、「不一致」が多くなっているが、実際にはほとんどの患者が「正常」となる想定

#1はレセコンの情報と資格確認結果が一致した場合、**患者情報の確認不要**

#2は転職等で保険資格情報が変更された場合、**患者情報の確認が必要**

#3は限度額情報が更新された場合、**患者情報の確認が必要**

#4は資格確認結果は外字が●として連携されるため、氏名が不一致となった場合、氏名（カナ）が一致していれば患者情報の確認不要

#5は住所が不一致となった場合、**患者情報の確認が必要**

- 1. 外字（UTF8取扱外）の「氏名（券面記載）」は、中間サーバーへの登録時点で「●」に変換され、医療機関での資格確認時も「●」で表示されます。また、医療機関の要望により、UTF8からSJISに変換してレセコンに連携することも検討しており、その際にSJISにない文字が表示されない等の問題が発生することが懸念されます。こういった場合、「氏名（券面記載）（カナ）」が無いと医療機関での確認を行うことが出来なくなります。**
- 2. 「氏名（券面記載）（カナ）」は任意項目ですが、前1の外字氏名への対応、レセコンへの連携、大規模災害時のキー項目として使用するため登録してください。**なお、登録いただく場合は、姓と名の間は、なるべくスペースを入れてください。
- 3. 「保険者証記号」及び「保険者証番号」は、環境依存文字で登録された場合、「●」に変換され、医療機関での資格確認時も「●」で表示されるため、環境依存文字は使用しないでください。**

開発項目（OP）

- 保険データの取り込み（保険証スキャン）
 - 指定された保険情報のデータ取り込み
 - 保険証・公費受給者証等
 - 本年10月頃データ仕様提示

- 返却データの再利用（検討中……期待しないで）
 - 領収書・明細書・薬情等の患者氏名印字
 - 戸籍文字は除く

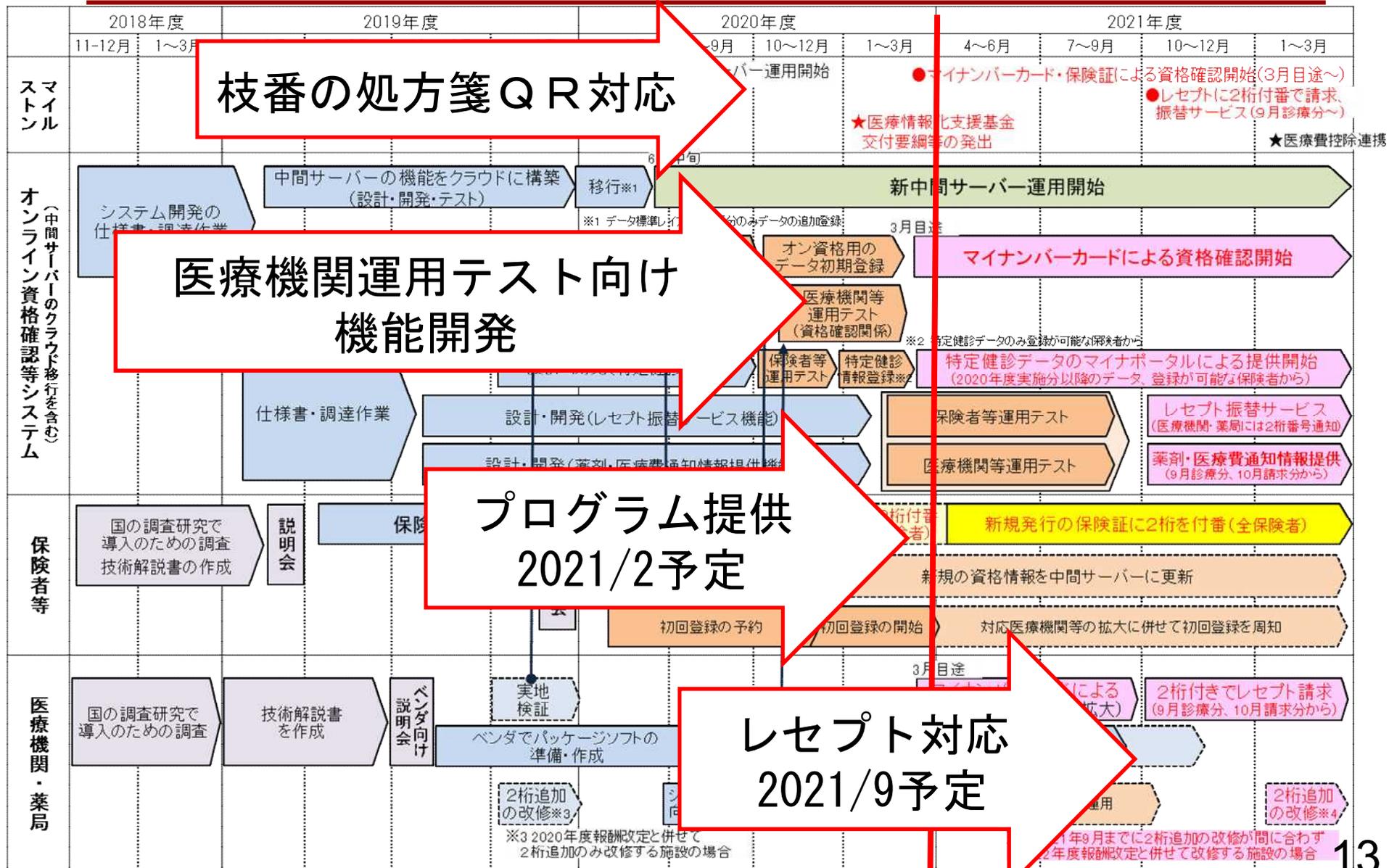
- 枝番対応
 - 電子レセプト
 - 令和3年9月対応予定
 - 一号用紙・処方箋
 - 印字対応済み QR9月対応

連携・他

- 電カル等連携（医薬品情報・特定健診情報）
 - 指定フォルダを監視し、ファイルを検知したら指定したフォルダ（資格確認端末以外）にデータ移動
 - 医薬品情報・特定健診情報の表示
 - データ・PDFの指定は、パラメータ()検討

※本項で示した開発項目は、開発予定項目です。予告無しで変更する場合があります。

日レセ対応予定



枝番の処方箋QR対応

医療機関運用テスト向け機能開発

プログラム提供
2021/2予定

レセプト対応
2021/9予定

オン資に関するQ A

【ORCAMO調べ】

リコーージャパン説明会でよせられた質問プラスα

※本QAの回答については、2020/08/07迄の情報を元に作成いたしました。内容については現在議論中のものも含まれています。今後議論の経緯によっては本回答と異なる結果になる場合がありますのでご注意ください。

問 1 (日レセ対応)

- 資格確認端末とORCA連携させるためのプログラムについて(リリース予定と有償・無償?)
- 日レセ側のプログラム対応に別途料金は発生いたしません。
- 日レセは顔認証リーダーにどう対応するのか
- 顔認証リーダーはマイナンバーカードで資格確認を行うための本人認証用の機器です。
- 日レセは、資格確認端末(PC)経由で保険資格を確認します。顔認証リーダーは資格確認端末(PC)と接続して運用いたしますので、日レセと直接接続することはありません。

問2（日レセ対応）

- 顔認証リーダー／オン資確認端末は複数メーカーから提供されるが、日レセではどの製品でも対応可能か？
- 厚生労働省の標準構成でオンライン資格確認を行う場合には、対応は可能と思われれます。
- ORCA推奨機器を採用される場合には、動作検証は取れています。



顔認証リーダー

株式会社アルメックス：CPS-100G（スペースグレイ）またはCPS-100W（ホワイト）

資格確認端末（PC）

株式会社アイ・オー・データ機器：APX-Medical/QC(仮)

※ 推奨機器はこの2社の機器の組み合わせにおいて動作検証が取れていることを表しています。弊社が2社のビジネスに関わることはありませんし、製品を保証するものではありません。

- それ以外を採用される場合には、ご自身で検証願います。

問3 (オン資制度)

- システム障害時や未導入医院にマイナカードのみ持参の患者対応はどうする?
- 新患の場合、未導入医院またはマイナンバーカードを用いての資格確認が出来ない場合には、一旦自費になります。
- 再診の時は医療機関で運用を決めておく必要があります。

問4 (オン資制度)

- 患者同意の取下げは可能か？可能な場合の取下げ方法は？
- 同意後の取り下げは出来ません。しかし、同意は診療の都度行われます。同意には有効期限(同意後24H)が設けられているため、一度同意をしたからといって、医療機関がずっと患者情報が閲覧可能になるわけではありません。

問5 (オン資制度)

- 移転等で月途中で医療機関番号が変更になった場合に照会番号は引き継がれるのか。
- 保健所等に一部変更届けを提出し新たな医療機関番号が発行されていることを前提として、新しい医療機関番号で支払基金に対してアカウント申請を行っていただく際に、医療機関番号の変更で手続きして頂くこととなります。その際、新しい医療機関番号で電子証明書の取得が必要となります。(証明書発行手数料が発生します。)
- 支払基金でアカウント申請受付後、地方厚生局から連携された情報等をもとに、医療機関番号の変更であることが確認できたら、支払基金側の作業で旧医療機関番号の照会番号を、新医療機関番号で利用できるようになります。

問6（オン資制度）

- 一度証明書を設定した資格確認端末が壊れた場合、証明書は無料でダウンロード出来ますか？
- 資格確認端末が壊れた場合、電子証明書は、お手持ちの**バックアップから復元**いただくことになります。
- バックアップも紛失されている場合は、新たな証明書を発行することになります。（証明書発行手数料が発生します。）

電子証明書のバックアップは重要です！！

問7 (回線)

- ネットワークの要件は？オンライン請求のネットワーク (IP-VPN) 閉域網？
- 回線についてはオンライン請求回線を使用することになっており、現在フレッツ光を利用してIP-VPN接続をしていれば。回線要件は満たしています(場合によってはルータの買換が必要になる場合があります)。
- ISDN・ADSLでオンライン請求をしている場合、回線がオンライン資格確認非対応となるため、回線の増強が必要になります。
- IPSec/IKE接続でオンライン請求を行っている場合はサービス事業者と相談してください。

問 8 (補助金)

- オンライン資格確認システム導入のために、既存システムを資格確認に対応するレセコン・電子カルテに入れ替えを進めたいと思っています。対応ソフトウェアが標準で搭載されており見積金額の分離出来ない場合に、レセコンの金額を事業額として申請できますか？
- 補助金は「オンライン資格確認システム導入」にかかる費用のみが対象となります。システムベンダ様におかれましては、システム入れ替えの際に全体金額のうちオンライン資格確認に関する費用内訳が明確になるよう見積り・請求書を作成してください。

問 9 (補助金)

- 医療情報化支援基金の申請はいつまで出来ますか？
- 補助金の実施要綱には「補助金交付申請は令和2年11月から申請を開始するものとし、支払基金から顔認証付きカードリーダーの提供を受けた上で、第2の交付対象事業を令和5年3月31日までに完了させ、令和5年6月30日までに申請するものとする。ただし、当該期間について、医療介護連携政策課長は、支払基金の理事長と協議して変更することができるものとする。」となっています。

問 1 0 （補助金）

- 医療情報化支援基金の予算は、918億（令和元年度150億＋令和2年度768億）となっていますが、使い切ったら補助金は打ち切りになりますか？
- 令和5年度から介護保険情報のオンライン資格確認開始が検討されています。従って補助金は別途予算で継続すると考えられます。

なぜ推奨機？

- 厚生労働省が定めた**資格確認端末**のOSは特定用途向けの「Windows10 IoT Enterprise 2019 LTSC 64bit版」又は「Windows10 Enterprise 2019 LTSC 64bit版」になっています。このOSを搭載したPCは一般の店舗では入手しづらいものです。
- 厚労指定の機器構成でオン資システムを構築する場合には、支払基金からOSや基金配布のプログラム・顔認証リーダーのアップデートプログラムの提供を受けることができます。
- 「Windows 10 Enterprise 2019 LTSC (IOT版含む)」はバージョンが固定され、安定した動作が期待できますが、市販の「Windows10」は年2回の大幅なバージョンアップが行われます。5年利用するとして10回のバージョンアップが行われます。このときに、顔認証リーダーとの接続に不具合が生じる可能性もあり、厚生労働省は「Windows 10 Enterprise 2019 LTSC (IOT版含む)」を標準としました。
- 一方で「資格確認端末」を介さずに自社レセコンの端末からオン資を行いたいというメーカーがあったことから、メーカーの責任においてセキュリティパッチを含めたプログラム更新を行うことを条件に、「Windows 10 Enterprise 2019 LTSC (IOT版含む)」以外のOSが認められました。
- 指定のOS以外のOS (Windows10 Pro等)を使用したPCを資格確認端末とする場合、セキュリティパッチを含めたプログラム更新をすべて医療機関の責任の下行う必要があります、お勧めは出来ません。
- 顔認証リーダー等に機器トラブルが発生した場合、支払基金は対応しません。顔認証リーダーメーカーへ問い合わせるよう案内されます。問合せを受けたメーカーが、しっかり対応するためには、顔認証リーダーと資格確認端末のメーカー間による相互協力による検証体制が不可欠です。このような理由から、弊社が保証するわけではありませんが、別途、相互検証協力体制が取れていることが確認出来た2社製品を推奨機器として紹介することにいたしました。

※ 日本医師会ORCA管理機構が製品を保証するものではありません。

問合せメールに対する回答文(案)

お問合せいただきました件、オンライン資格確認を行うためには、以下の3つのものがが必要です。

- 支払基金と常時接続するための回線とネットワーク機器
回線についてですがオンライン資格確認は、オンライン請求回線を使用することとなっています。
- 支払基金が配布する顔認証付きカードリーダー
- 顔認証リーダーと接続し、保険資格情報を取得するための資格確認端末(PC)

日レセはオンライン資格確認を行うにあたり、厚生労働省の標準構成で行います。標準構成では、保険資格情報を資格確認端末(PC)経由で取得するため、顔認証リーダーは資格確認端末と接続します。従って日レセが顔認証リーダーに対応することはありません。

【重要】

1. 回線につきまして、現在フレッツ光を利用しIP-VPN接続でオンライン請求を行っていただければ、回線要件は満たしています(場合によってはルータの買い換えが必要になることがあります)。

ISDN・ADSLでオンライン請求をしている場合は、回線がオンライン資格確認非対応となるため、回線の増強が必要になります。

IPSec/IKE接続でオンライン請求を行っている場合はオンライン資格確認に対応しているか、サービス提供事業者の確認が必要です。

2. 資格確認端末ですが、厚生労働省が定めた資格確認端末のOSは、「Windows 10 IoT Enterprise 2019 LTSC 64bit版」又は「Windows 10 Enterprise 2019 LTSC 64bit版」になっています。このOSを搭載したPCは一般の店舗では入手しづらいものです。

3. 顔認証リーダーについてです。顔認証リーダー等に機器トラブルが発生した場合、支払基金は対応しません。顔認証リーダーメーカーへ問い合わせるよう案内されます。問合せを受けたメーカーが、しっかり対応するためには、顔認証リーダーと資格確認端末の相互協力サポート体制が不可欠です。このような理由から、弊社が保証するわけではありませんが、別途、相互検証協力体制が取れていることが弊社で確認出来た機器を推奨機器として紹介することにいたしました。

推奨機器は以下の通りです。

- ・顔認証リーダー
株式会社アルメックス:CPS-100G(スペースグレイ)またはCPS-100W(ホワイト)
- ・資格確認端末
株式会社アイ・オー・データ機器:APX-Medical/QC(仮)

※ 推奨機器はこの2社の機器の組み合わせにおいて動作検証が取れていることを表しています。弊社が2社のビジネスに関わることはありませんし、保証するものではありません。

推奨機器は絶対ではありません。詳細につきましては、認定事業所(システム導入事業者)経由でご案内させていただきますので、認定事業所の勧めるものをご購入いただくことをお勧めします。



推奨機器

株式会社アイ・オー・データ機器：APX-Medical/QC(仮)

■ オンライン資格確認端末の予定仕様

- CPU Intel Core i3-8100T 3.10GHz 4Core
- RAM 8GB
- OS Win 10 IoT Enterprise 2019 LTSC
- NIC2系統以上（オンライン請求用回線・施設内環境）
- USBコネクタ ×5 (USB3.0 ×4 (Rear) =3.2Gen1、USB2.0 ×1 (Front))
- HDMI接続（ディスプレイ接続可能）
- RAID RAID1 (HDD×2) S/W RAID

※ 厚生労働省様の要求仕様を満たしています。

その他現時点で想定している同梱品

- ・USB汎用マウス
- ・USB汎用キーボード
- ・USB接続ICカードリーダー/ライター

※モニターはオプションです。別途窓口のスペースにあわせて選択ください。



株式会社アルメックス

■ 顔認証リーダー

- CPS-100G（スペースグレイ）
- CPS-100W（ホワイト）



【製品名】



【製品梱包品】

- 本体
- ACアダプタ
- USBケーブル
- 簡易マニュアル



本体カラーは『ホワイト』『スペースグレイ』の2色

★主な特長

- ①保険証連携対応
オンライン化対象外の紙の公費医療券・証明書等の読み取りが可能
- ②再来受付機との連携によるスムーズな患者対応
弊社製再来受付機に接続(一体化)することで、再来受付とオンライン資格確認の手続きが一度の操作で可能





日本医師会ORCA管理機構株式会社
〒113-0021 東京都文京区本駒込6-1-21
コロナ社第3ビル6階
TEL: 03-5981-9681(代)
delegate@orcamo.co.jp